

## 三菱自動車、コンパクト SUV 『エクスフォース』 を台湾で発売

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）は、コンパクト SUV 『エクスフォース』 を台湾における生産・販売会社である中華汽車工業股份有限公司（以下、中華汽車）の楊梅工場で生産し、1 月中に販売を開始する予定です。当社が台湾へ現地生産の新型車を投入するのは 9 年ぶりとなります。



『エクスフォース』



（左から）代表執行役副社長 中村達夫、  
中華汽車総経理 曾鑫城

『エクスフォース』は「Best-suited buddy for an exciting life（毎日を愉しく過ごすことができる頼もしい相棒）」をコンセプトに開発した 5 人乗りのコンパクト SUV です。2023 年 11 月にインドネシアで販売開始後、ベトナム、フィリピンなどのアセアン地域や、中南米、アフリカ、中東などに順次展開を拡大し、累計約 6 万 2 千台を販売している世界戦略車のひとつです。スタイリッシュかつ力強い本格的な SUV デザインを有し、取り回しの良いコンパクトなボディサイズでありながら、5 人乗車でも広々とした快適な居住空間が評価されています。

今回発表したモデルは中華汽車が台湾市場向けに現地生産するモデルで、同国の排気ガス規制「ユーロ 6c」に適合するとともに、レーダークルーズコントロールシステム [ACC] と車線維持支援機能 [LKA] を統合制御するレベル 2 相当の高度運転支援機能、10.25 インチの大型デジタルメーターや、現地専用の青色のボディカラーなどを同社の専用開発により新たに採用しています。

当社代表執行役副社長（営業担当）中村達夫のコメント

「60 年以上にわたり中華汽車と共に歩んできた台湾市場を再強化すべく、現地調査を重ねて商品力を高めた特別な『エクスフォース』を開発しました。私たちが胸を張って、非常に良い仕上がりだと断言できる完成度であり、すでに計画を上回る予約受注をいただいています。台湾の皆さまにお届けできることを、心から楽しみにしています。」

以上